

平成29年度 第2回徳島労働局公共調達監視委員会審議概要

開催日時	平成30年2月20日 10:00～	
会場	徳島労働局4階会議室	
委員（敬称略）	委員長 島内 保彦	弁護士
	委員 新見 和男	税理士
	委員 南 育弘	大学教授
事務局	徳島労働局総務課	
審議対象期間	平成29年7月1日～平成29年12月31日契約締結分	
意見の具申又は勧告	なし	

- 1 対象期間中の対象契約件数は3件であり全数審議。
- 2 審議案件に対する委員からの質疑等及び質疑等に対する事務局回答

公共工事（競争入札）審議件数0件

公共工事（随意契約）審議件数0件

物品・役務等（競争入札）審議件数3件

建築物点検業務委託

質疑等	回答
雨漏り点検などについて、技術評価はどのような判断基準でなされているのか。また、落札率が48.1%であるが、定期的実施するものなので、項目ごとの単価も見えやすいと思われるので、人件費割合が高い業務と思われるが、入札の際に積算を求め、以降の資料としてはどうか。1件あたりの所要日数について条件はあるのか。また、保全技師等は（落札者の）専属なのか。	資格等級について、財務諸表等により事前に資格審査がなされており、業務の可否については担保されている。また、本業務については、仕様書において検査項目のひな型を示している。積算根拠の提出については、今後の調達に当たっての参考としたい。1件あたりの所要日数に条件は設けておらず、契約期間内に完了すればよい。保全技師等は（落札者の）専属である。

年度後半における集中的な就職面接会事業委託契約

質疑等	回答
落札額から会場費を差し引くと130万～140万円となるが、どこで経費を圧縮しているのか。また、人件費について、共通の積算方法はあるのか。	受託に際し、臨時にスタッフを雇用するのではなく、自社社員の空き時間等に対応する場合は実質的に経費の加算は生じないものと思われる。人件費については共通の積算方法は無く、入札参加者が過去の経験に基づくもの等により積算しているものである。

徳島労働局官用車 1 台の調達

質疑等	回答
<p>各メーカーが入札参加しそうな印象があるが、一者応札となっているのは何か理由があるのか。値引きも大きく、この点では望ましい競争が働いているものと思われる。</p>	<p>特段、他社の参加が困難な理由は考えられない。しかし、参考見積もりは提出してくれるが、入札には参加してくれない。複数台の調達であればメリットがあるのかもしれないが、予算上の制約があるため難しい。</p>
物品・役務等（随意契約） 審議件数 0 件	